

▼ハイイーター錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 グマロンチニブ水和物 Gumarontinib Hydrate 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [MET 阻害剤]

【単位】 ▼50mg/錠

【常用量】 300mg/日 [適宜減量]

【用法】 1 日 1 回 空腹時投与

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能と PK は関連せず常用量 (1)

【特徴】

【主な副作用・毒性】 間質性肺疾患, 体液貯留, 肝機能障害, QT 間隔延長, 疲労, 倦怠感, 悪心, 嘔吐, 食欲不振, 血球減少, 頭痛, 筋肉痛など

【安全性に関する情報】 QT 延長のポテンシャル (1) 間質性肺疾患が発現又は増悪するおそれ (1)

【吸収】 食事で吸収増大するため食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間の服用は避ける (1)

【F】

【tmax】

【代謝】 CYP3A, 2C8, 2C9 で代謝 [CYP3A の寄与は 5%未満] (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 0.02% [po, 240hr まで], 糞便中に未変化体として 74%回収 (1)

【CL/F】 4.39L/hr (1)

【t1/2】 20～30hr (1)

【蛋白結合率】 97% (1)

【Vd/F】 Vc=196L/body, Vp=52.2L/body (1)

【MW】 477.50

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】

【相互作用】 MATE1, MATE2-K を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20240914

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。